

## 社会基盤分野の中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト

日本工学院八王子専門学校 事務局 広瀬幸男  
 東京工科大学・日本工学院 正会員 ○伊藤武志  
 (全国高等学校土木教育研究会顧問)

## 1. はじめに

少子高齢化・日本経済の低迷が続く中で、東日本大震災復興やインフラの老朽化など社会基盤の整備に関する課題が山積している。東京オリンピック・パラリンピック開催決定なども踏まえた建設投資がようやく上向きになる反面、土木業界の労働力不足・高齢化の進行・若年者の入職減・低水準賃金・技術の継承・魅力に乏しい就労環境などの解決策がまだまだ見えない状況であるが、産学官あがてのさまざまな試みが行われている。このような現状の中で、本稿は文部科学省委託事業である成長分野等における中核的人材養成の戦略的推進事業の土木社会基盤分野における3年間(2012～2014)の成果を示したものである。

## 2. 社会基盤分野における中核的専門人材養成の戦略的推進事業

産業や社会構造の変化、グローバル化等が進む中で、経済の先導役である産業分野の中核的な人材や高度な人材の要請が求められている。また、教育振興基本計画においては、専門学校等が産業界と協働して、中核的な人材の育成を行う職業教育プログラムの開発・実施など社会人や女性の学びなおしの支援を行うこととされている。これらのことから、この事業は大学・専門学校等と産業界等が産学官コンソーシアムを組織し、その下で、具体的な職域プロジェクトを展開し、協働して、社会人・女性・学生の就労、キャリアアップ、キャリア転換に必要な実践的な知識や技術技能を身につけるための学習システム等を構築するとともに、特に社会人や女性の学びなおしを全国的に推進するものである。このような趣旨を踏まえた上で、社会基盤分野における土木・建築のインフラ等に関するコンソーシアムの事務局として2012年度から取り組み、中核的専門人材のための教育プログラムを開発した(図1)。

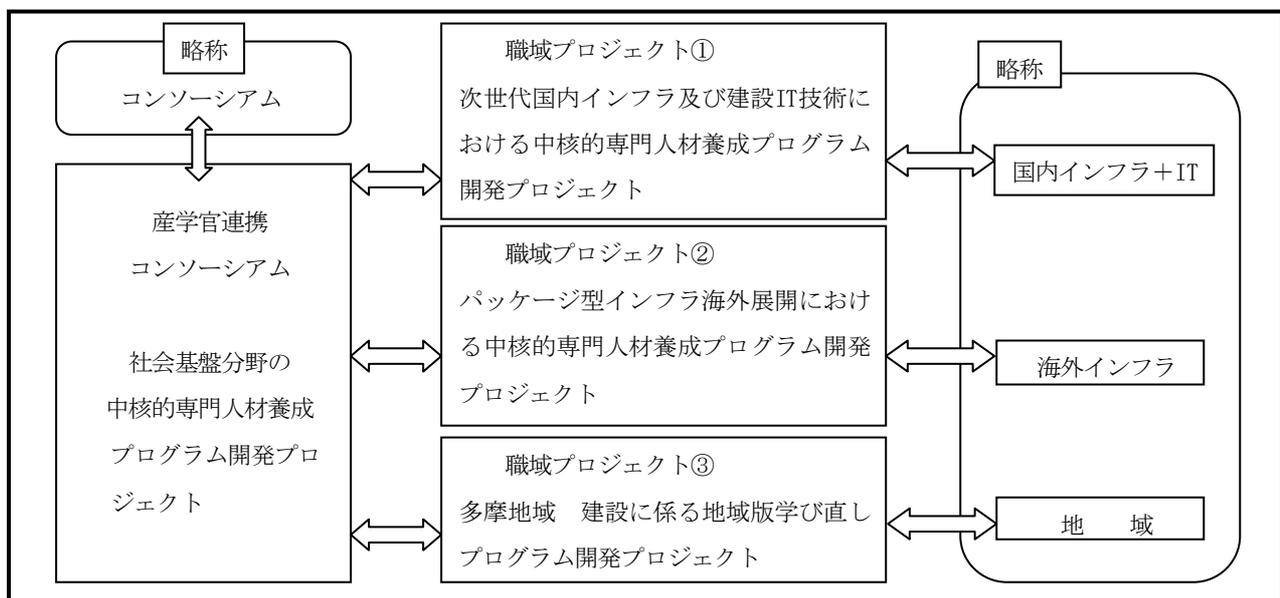


図1 教育プログラム開発のしくみ (2012～2014事業報告書より)

## 3. 土木分野における中核的専門人材

事業における中核的専門人材とは、産業構造の変化やグローバル化に対応した知識・技術・技能を備えた人材の「10年後に活躍できる中・小グループのリーダー」と定義し、このような人材を育成する教育プログラムを開発し実行することで、日本が現在かかえている労働力人口の減少や雇用のミスマッチなどの課題を解決し、若者、女性、高齢者等が学びや職業を通して活躍できる全員参加型の社会の実現を目指したいと考えている(図2)。

中核的専門人材 職域プロジェクト

東京都八王子市片倉町1404-1 042-636-0511 FAX042-636-8620

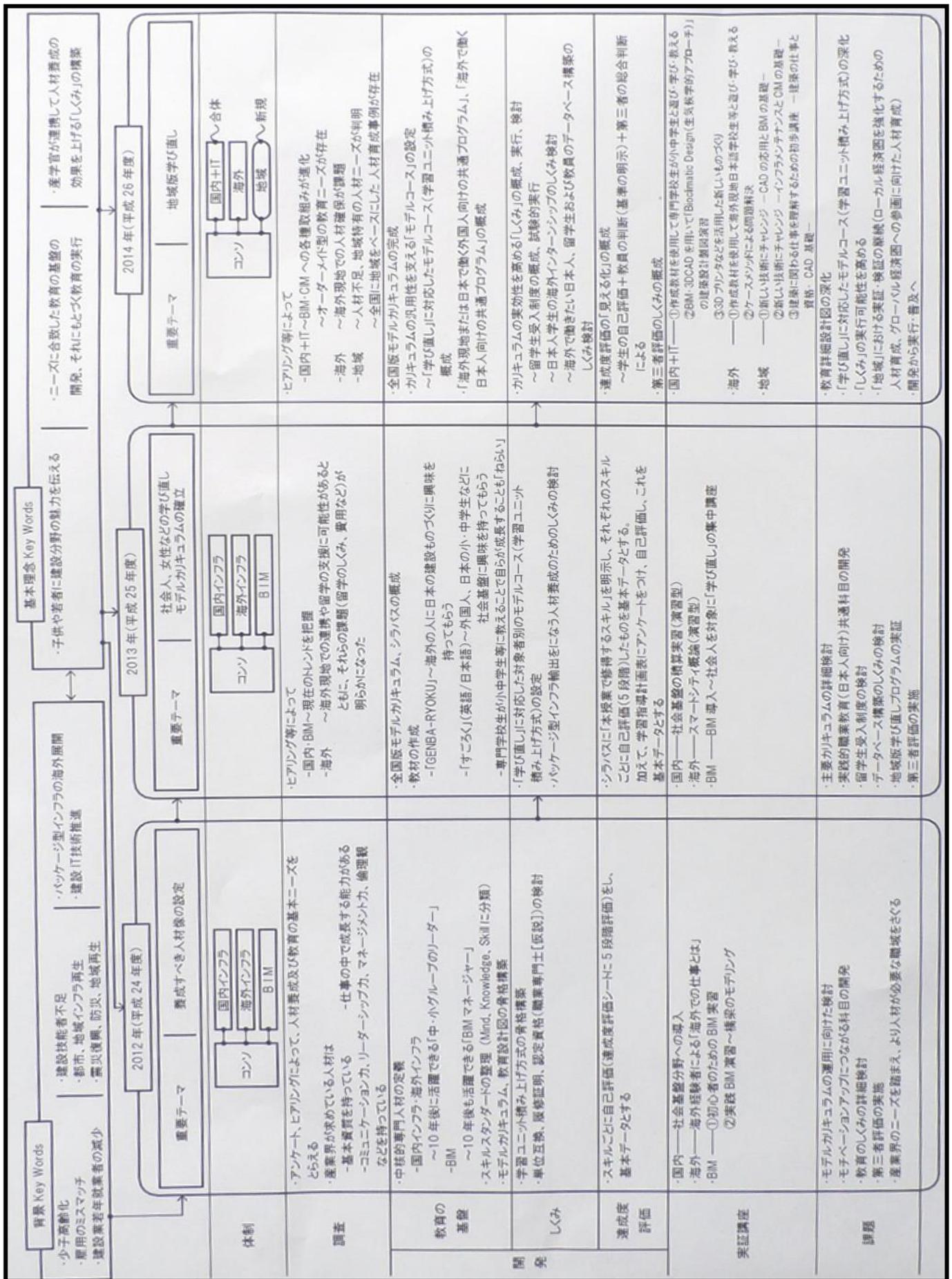


図2 2012~2014年の3年間における実施事業概要 (2012~2014事業報告書より)